News of The Japanese Weekend School of New York

# BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成26年8月22日　No.9
発行責任者：校長　櫻井郁男

## 読み聞かせ

ニューヨーク生活も1年余、夏期休業中は各地の美術館に足繁く通い、世界の名画を楽しみました。



「教会・社寺仏閣・美術館等に入場するときは、先人に対し礼を尽くしましょう」と、中学時代に学びました。そこで、美術館の入り口でサングラスを外し、帽子を取り(脱帽)、丁寧に一礼してチケット売り場に歩を進めると、(シニアとみられるためか・・・)とても好意的に対応していただけます。

私には特別な「お気に入り」の画家や作品はありませんので、ゆっくり時間をかけて作者・作品と対話をすることができます。そんな中、目にとまる作品がありました。それは読み聞かせを題材とした作品です。



春の野辺
ゆったりとした夜
冬のベッド・・・

作者・作品名等は読みとれない私ですが、自分なりに命名し、描かれている様子を想像し、幼い頃母にせがん読んでもらった、いくつかのお話を思い出していました。



**・・・母との記憶・・・**

小さな小さな機関車が、長い長い客車を引いて、遠くからやってきます。シュッ　シュッ　シュッ　シュッ　強い強い　シュッ　シュッ　シュッ　シュッ・・・峠の坂にかかります。シュッ　シュッ　シュッ　シュッ
いくら頑張っても、峠の坂は急で登れません。そこで前の停車場に戻って助けてもらうことにしました。

・・・・・・略・・・・・・
大きな大きな機関車さん。峠の坂を登れません。どうぞ助けて下さいな。
**残念だけど、これから街に戻るところなのさ。**

仕方なく、ふたつ前の停車場に戻って助けてもらうことにしました。
・・・・・・略・・・・・・
大きな大きな機関車さん。峠の坂を登れません。どうぞ助けて下さいな。
**残念だけど、火を落とされ水を抜かれて動けないんだよ**

仕方なく、みっつ前の停車場に戻って助けてもらうことにしました。そこには自分と同じ小さな機関車が煙をはいて停まっていました。

小さな小さな機関車さん。 ボクと同じ小さな機関車さん。向こうの峠を登れません。どうぞ助けて下さいな。

**・・・はい。 ちょうど仕事が終わりました。お互い様です。 さあ行きましょう。**

**シュッ シュッ シュッ シュッ・・・**

こうして小さな小さな機関車たちは、力を合わせて峠を越えていきました。シュッ シュッ シュッ シュッ 強い 強い シュッ シュッ シュッ シュッ

「音読のススメ」に続き、「読み聞かせ」について、半世紀以上前の記憶を紹介させていただきました。

そうそう、新幹線を跨ぐ環状八号線も、当時は砂利道でした。引き売りに来た坂道でスリップをして登れなくなった八百屋さんのオート三輪を、子供たちで一生懸命押てあげた記憶がよみがえります。

**おしらせ**

東京都立国際高等学校の教員より、自校の教育改善を目的として、「本校を見学させていただきたい」との申し出がございました。本校では従来より入学希望者の学校見学は許可しておりますが、国内からの研究目的での視察受け入れは慎重に対応しております。(収拾がつかなくなるからです)

今回(8月30日)は、視察希望校が「公立学校であること」 と、興味を持つみなさまに「国際バカレロア教育」について説明をすることを条件に、校長がW校にて当日の案内と対応をいたします。

質問等がございましたら当日は図書室に11時過ぎにお越し下さい。(学校説明会)ではありません。